

平成31年度

川崎市立川崎高等学校附属中学校入学者決定検査

適性検査Ⅰ（45分）

— 注 意 —

- 1 「はじめ」の合図があるまで、この問題用紙を開いてはいけません。
- 2 問題は全部で2つあります。こちらから開くと**問題1**（全4ページ）になります。**問題2**（全5ページ）は反対面から始まります。
- 3 問題をよく読んで、答えはすべて解答用紙の決められたらんに、わかりやすくいいねいな文字で書きましょう。解答らの外に書かれていることは採点しません。
- 4 解答用紙は全部で3枚あります。
- 5 計算やメモが必要なときは、解答用紙には書かずに、この問題用紙の余白を利用しましょう。
- 6 字数の指定のある問題は、指定された条件を守り、**問題1**はたて書きで、**問題2**は横書きで書きましょう。最初のマスから書き始め、文字や数字は一マスに一字ずつ書き、句読点「。」やかっこなども一字に数え、一マスに一字ずつ書きます。ただし、**問題1**の(7)は、その問題の「注意事項」の指示にしたがいましょう。
- 7 「やめ」の合図があったら、途中でも書くのをやめ、筆記用具を机の上に置きましょう。

問題1

次の[A]の詩、[B]の文章、[C]の詩を表現するための話し合い、[D]の詩を表現するための台本を読んで、あとの(1)～(7)の各問いに答えましょう。なお、問題作成のため、一部文章を変更へんこうしています。

[A]

著作権の都合により省略しています。

[B]

著作権の都合により省略しています。

はなこさん

たろうさん

はなこさん

じろうさん

ようこさん

たろうさん

じろうさん

はなこさん

じろうさん

ようこさん

たろうさん

ようこさん

じろうさん

たろうさん

② 四人で協力して、よいものにしましょう。

そうだね。では、詩をどのように表現するか考えよう。キーワードは、「すきとおる」と「どうして」だと思わ。そして、「すきとおる」は四人で言いたい。

ぼくは、「すきとおる」は「こない」を大切にしたい。だって、「すきとおる」ってこんなに言っているのに、今になってもぼくたちはすきとおっていないって、詩でも文章でも言っているよ。だから、「すきとおる」は「こない」は、消えるような声で表現したいな。

それなら「すきとおる」をとっても力強くするのいいと思わ。そのために、四人で言いましよう。そうすると、「すきとおる」は「こない」も強調されると思わ。

「すきとおる」を力強くすることで、消えるような声で表現する「すきとおる」は「こない」が強調されるのは、どうしてかな。どちらも力強く読むほうが、声も大きくなって印象に残りやすいと思わけれど。

二つの表現を(う)時に、表現方法に差のある方がどちらにも印象に残りやすい、ということではないかな。なるほど。とてもいい考えだと思わ。では、「力強く」と「消えるように」の差をはっきり表現しましよう。

それなら、「どうして」も、最初と最後に表現方法を変えよう。最後は、困っているように、声を大きめにして表現してみようよ。

③ そうしましよう。それと「間」はどうしましようか。長めに「間」を取らないと聞いている人には伝わらないと、先生がおっしゃっていたよ。

そうなのね。それなら、三秒以上かしら。秒数を決めないで、実際に読んでみて考えようよ。そうしよう。どんな表現ができるか、楽しみなね。

(1) **B**の——線①「未だに」と同じ意味の言葉を、**C**から探し、六字で書きぬきましよう。

(2) **B**の(あ)にあてはまる言葉を、**A**から探し、書きぬきましよう。

(3) **B**の(い)にあてはまる言葉として最もふさわしいものを、次の中から一つ選び、番号で答えましよう。

- 1 思うままに記している 2 とりあえず記している
3 ただ単に記してはいない 4 あえて記してはいない

(4) **C**のやりとりにおいて、——線②と③の発言に共通している役割として最もふさわしいものを、次の中から一つ選び、番号で答えましよう。

- 1 前の人の発言に返答してから、話し合うべきことにふれていく。
2 前の人の発言に返答せずに、話し合うべきことにふれていく。
3 前の人の発言に同意してから、話題と関係ないことにふれていく。
4 前の人の発言に同意せずに、話題と関係ないことにふれていく。

著作権の都合により省略しています。

- (5) **C**の(う)に入るふさわしい言葉を、二種類書きましょう。例のように、一つは漢字一字に送りがないを、もう一つは同じ漢字を用いた熟語に「する」をつけて書きましょう。

例 招く

招待する

決める

決定する

- (6) **C**の話し合いの後に、四人は練習しながらこの詩を読んで表現するための台本**D**を作りました。次の問いに答えましょう。なお、**D**の番号①～③は行数を表わし、記号ア～コは表現方法や間の取り方の注意書きを表わしています。

- i **D**のア～コの中に、**C**で話題になっていたにもかかわらず、まちがっている注意書きが二か所あります。解答用紙の例にならって記号と正しいものを書きましょう。

- ii **D**の①～③の中に、**C**で話題になっていたにもかかわらず、書かれていない注意書きがあります。何行目のことか番号で答え、その注意書きを書きましょう。

(7) あなたは、話し合い活動で最も大切なことは何だと考えますか。

〔C〕から良いところを一つあげ、これまでの経験にふれながら、中学生になつたらどのような話し合いをおこないたいかについてまとめ、後ろの「注意事項」に合うように考えや意見を書きましょう。

〔注意事項〕

- **解答用紙2**に三百字以上四百字以内で書きましょう。
- 原稿用紙の正しい用法で書きましょう。また漢字を適切に使いましよう。
- 題名や自分の名前は書かずに、一行目、一マス下げたところから書きましょう。
- 三段落以上の構成で書きましょう。
- 句読点「。、」やかっこなども一字に数え、一マスに一字ずつ書きましょう。また、段落を変えたときの残りのマス目も字数として数えます。

問題 2 たろうさんとはなこさんが話をしています。次の会話文を読んで、あとの(1)～(6)の各問いに答えましょう。

たろうさん：最近、川崎にいる人の数が多くなっている気がするな。

はなこさん：そうかもしれないわ。私の家の近くにも大きなマンションが建ったせいか、前よりも毎朝駅が混み合っているっておねえちゃん言っていたわ。そういえば、川崎市は人口が150万人をこえたって先生たちが言っていたわ。

たろうさん：そうそう。ところで、いつからこんなに人が増えているのだろう。川崎市の人口の資料を市のホームページで調べてみよう。

はなこさん：①川崎市の人口と世帯数の移り変わりを表すグラフ〔資料1〕があったわ。

たろうさん：あれ、左は「人口」って単位が書かれているけれど、右側の「世帯数」って、何のことかな。

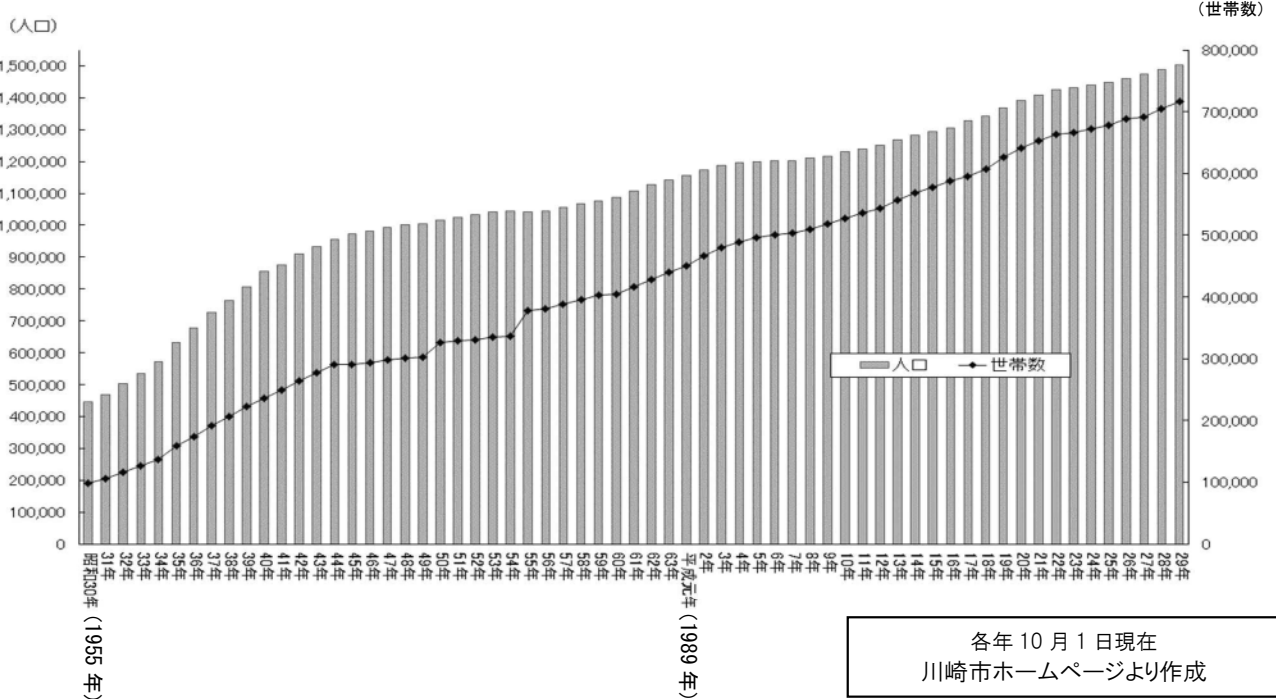
はなこさん：例えば、私の家は5人家族で生活しているから、これを1世帯と数えるのよ。

たろうさん：そうするとぼくの家は、3人家族で生活している1世帯ってということだね。

このグラフをみると人口も世帯数もどんどん増えているんだね。

はなこさん：この資料から、②家族の様子が変化してきているということが言えそうね。

〔資料1〕川崎市の人口と世帯数の移り変わり



(1) 下線部①について、このグラフからよみとれるものとして正しいものを次のア～オからすべて選び、記号で答えましょう。

- ア 昭和30年はおよそ10万世帯だったのが、平成29年では70万世帯をこえているといえる。
- イ 昭和30年の人口は約20万人だったが、平成19年にはその7倍の人口にまで増えたといえる。
- ウ グラフは増加の傾向にあり、2017年の世帯数は1975年の2倍以上であるといえる。
- エ 人口が100万人をこえたころの世帯数を見ると、当時は平均5人家族であったといえる。
- オ 昭和54年と55年には他の年には見られない急激な変化があり、世帯数の増加に比べて人口が大きく増加したといえる。

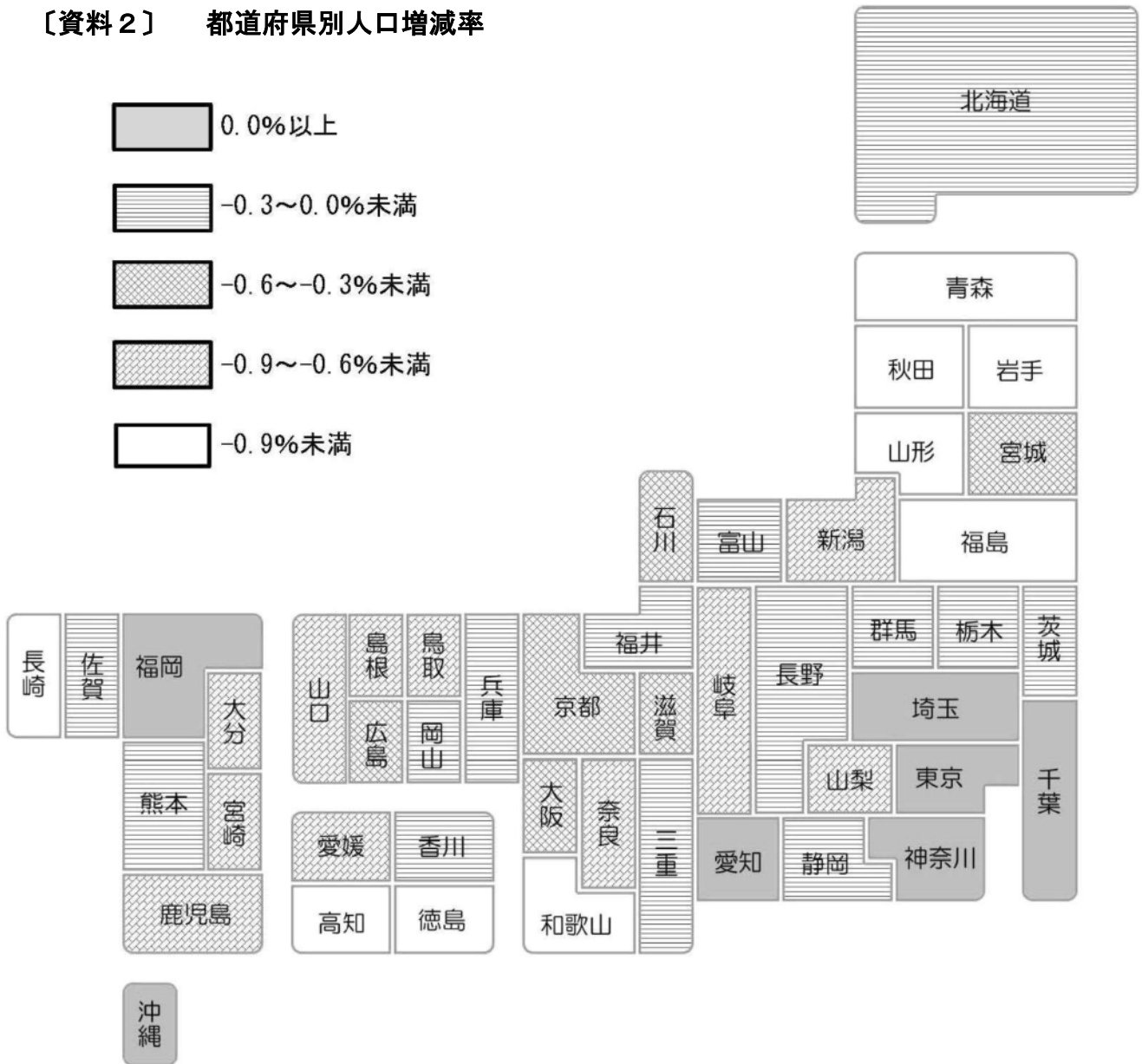
(2) 下線部②について、〔資料1〕をもとに家族の様子がどのように変化したのか、20字以内で書きましょう。

はなこさん：川崎市の人口が増えているということは、神奈川県もそうなのかしら。

たろうさん：それは、この「都道府県別人口増減率」〔資料2〕を見るとわかるよ。これは前年と比べてどれだけの割合で人口が増えたか減ったかを表わしているものだよ。

はなこさん：都道府県によって増えているところと減っているところがあるのね。人口が増加している都道府県の数是全国に〔あ〕あるのね。

〔資料2〕 都道府県別人口増減率



総務省統計局 H30 人口推計要約より作成

(3) 〔あ〕 にあてはまる数字を書きましょう。

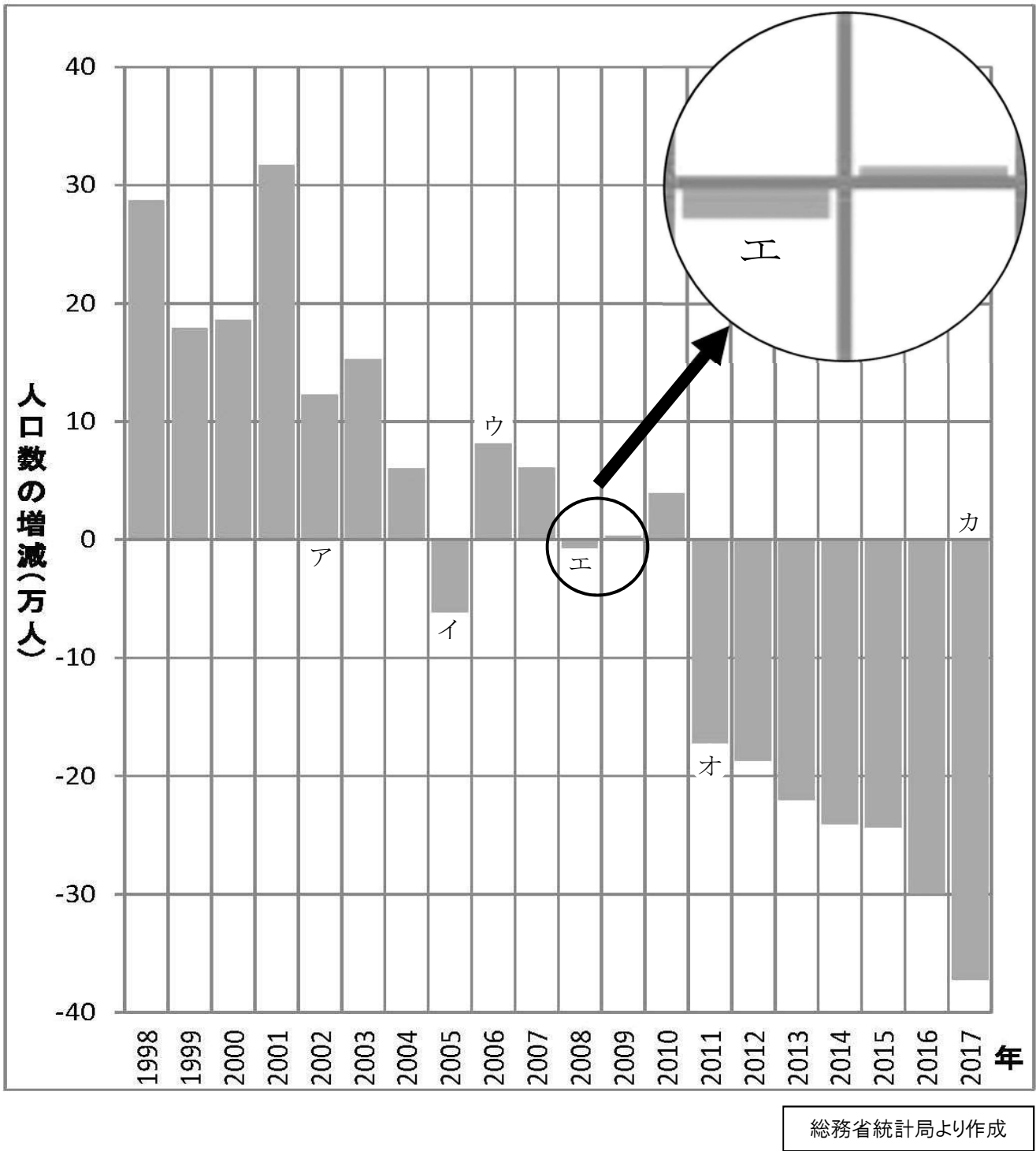
はなこさん：日本全体の人口は、どう変化しているのかしら。

たろうさん：日本人の人口が、前年と比べてどれだけ変化したかを表すグラフ【資料3】があるよ。

はなこさん：これを見ると、グラフの が示すところから人口が減少し続けているわ。

たろうさん：そうだね。そして、前年と比べてもっとも人口が減少したのはグラフの が示すところだと分かるね。

【資料3】日本人の人口の増減数の変化

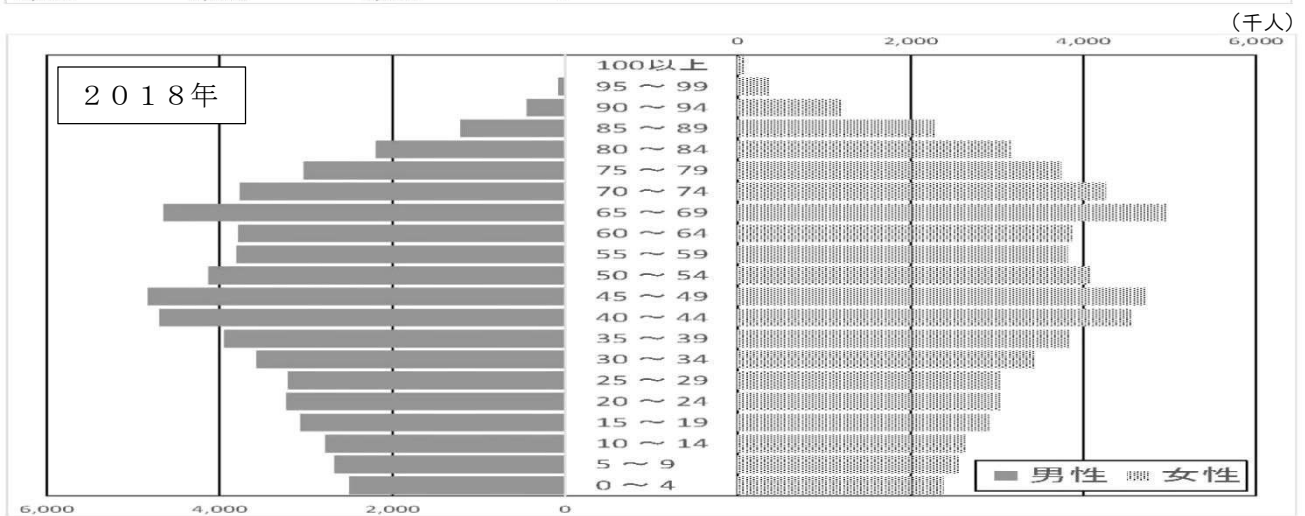
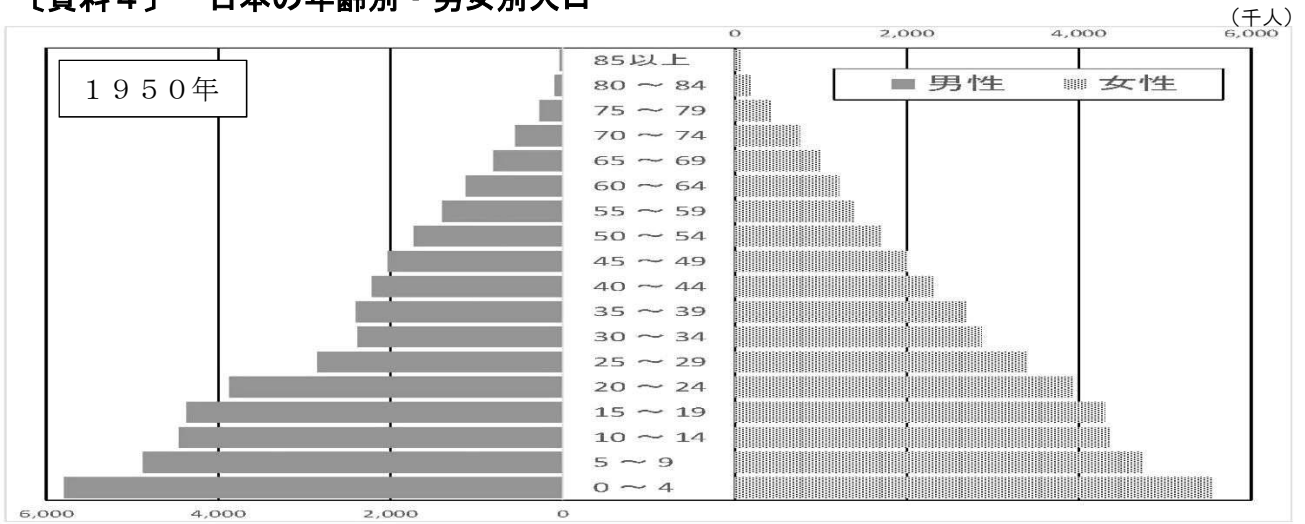


(4) 、 にあてはまるグラフが示すところをア～カの中から選び、記号で答えましょう。

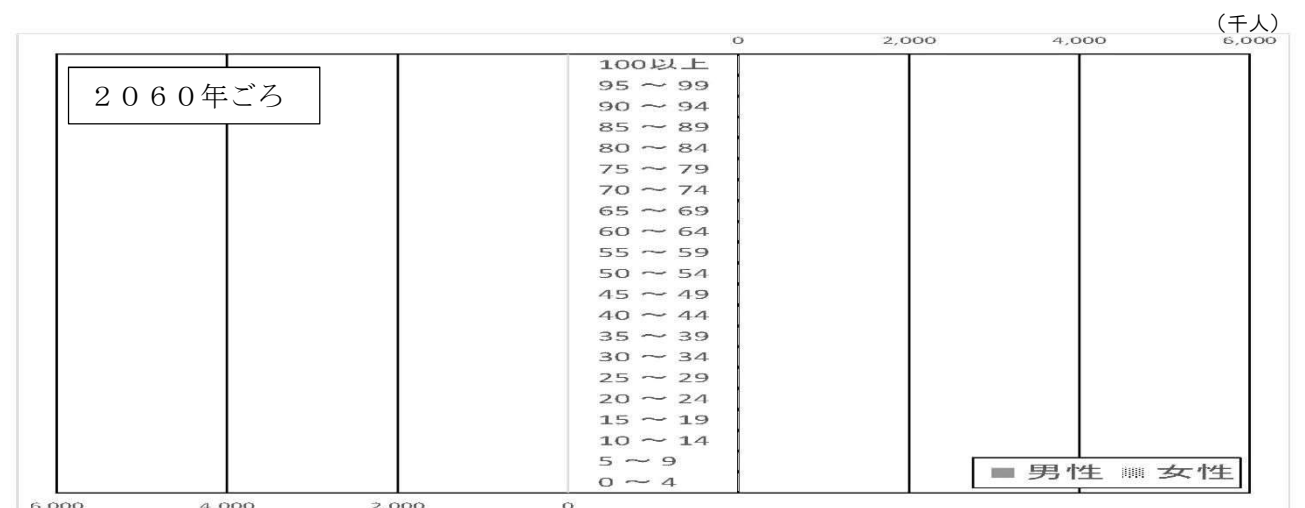
たろうさん：人口が減少すると、いろいろな面で問題がおこるんじゃないのかな。生まれてくる子どもの数が減っているって聞いたことがあるけどそんなに減っているのかな。

はなこさん：それはこの日本の年齢別・男女別人口【資料4】を見るとわかるわ。0歳が底になって、年齢が上がるにつれて積み重なってできているのよ。1950年には、生まれてくる子どもの数が一番多くて、年齢が上がっていくにつれて亡くなるなどで人口が少なくなっているのね。そのため、ピラミッドのような三角形になることから、人口ピラミッドと呼ばれることもあるのよ。

【資料4】 日本の年齢別・男女別人口



総務省統計局より作成



たろうさん：そうなんだ。でも、この2018年のグラフはピラミッドの形には見えないね。

はなこさん：日本ではさまざまな理由から生まれてくる子供の数が減って少子化が進んでいるらしいわ。それに、医療の発達などで寿命も伸びて高齢化が進んでいるのね。

たろうさん：川崎でも高齢化が進んでいるそうだよ。川崎市が2018年10月に公表した年齢別人口によると、市の人口はこの時点で1516483人、そのうち75歳以上の割合が初めて10%になったそうだよ。

はなこさん：え、10人に一人が75歳以上なの。これから先はどうなるのかしら。

たろうさん：川崎市の予想では、人口は2030年ごろ一番増えておよそ1586900人になり、この時に75歳以上は13.3%、その後、人口は減少していくけど、75歳以上の人の割合は増加し続けて、2060年には22.1%にまでなるそうだよ。

はなこさん：人口が一番多くなると予想される③2030年ごろは、2018年と比べて75歳以上の人口がどれくらい増えるのか計算してみましょう。

たろうさん：将来のことを予想するのは難しいことだけど、それに対応した勉強や準備が大切になるよね。

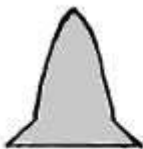
はなこさん：そうよね。たとえば、現在の状況がこの先も続くとしたら、④日本の40年後の人口ピラミッドはこんな形になっていると思うわ。

たろうさん：そうだね。ぼくもそう思うよ。

(5) 下線部③について、その答えとしてあてはまるものを次のア～エの中から1つ選んで、記号で答えましょう。

ア 約6万人 イ 約7万人 ウ 約8万人 エ 約9万人

(6) 下線部④について、はなこさんが考えた40年後の人口ピラミッドは、どのような形になるでしょう。次のア～エの中から1つ選んで、記号で答えましょう。



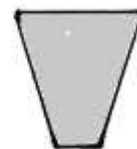
ア



イ



ウ



エ